

## 市民経済委員会記録

1 日 時 平成29年9月19日(火)

午前10時09分 開会

午前10時54分 閉会

2 場 所 第3委員会室

3 出席委員

委員長	豊田康志	副委員長	藤田誠一
委員	井谷幸恵	委員	伊藤優子
委員	真木増次郎	委員	仙波憲一

4 欠席委員

なし

5 説明のため出席した者

・市長 石川勝行

・経済部

部長	鴻上浩宣	総括次長(産業戦略監)	赤尾禎司
次長(産業振興課長)	黒下敏男	次長(農林水産課長)	山内敏弘
運輸観光課長	宮崎司	農地整備課長	牧谷和弘
農林水産課主幹	鍋井慎也	農地整備課技幹	川口彰浩

6 委員外議員

米谷和之

7 議会事務局職員出席者

議会事務局長 糸野誠二

議事課係長 美濃有紀

8 本日の会議に付した事件

別紙付託案件表のとおり

9 会議の概要

開会 午前10時09分

●豊田委員長：〈開会挨拶〉

○市長：〈挨拶〉

## ◎経済部関係

### □議案第60号 平成29年度新居浜市一般会計補正予算（第2号）

○赤尾経済部総括次長（産業戦略監）：〈説明〉

〈質 疑〉

●伊藤委員：認定農業者経営改善支援事業費について、農業機械の購入は、何の野菜のものか。

○山内経済部次長（農林水産課長）：タマネギの加工、出荷にかかる機械である。

●伊藤委員：タマネギの出荷量はどのくらいになるのか。

○山内経済部次長（農林水産課長）：出荷量は実施計画書に出ていない。参考までに、作付面積は今現在747平米であり、事業実施後は2万747平米と、約2ヘクタールほどの面積の拡大を見込んでいる。

●伊藤委員：タマネギの出荷量をふやすために改善する機械を導入するということか。

○山内経済部次長（農林水産課長）：タマネギの作付面積の拡大を目指すということで、収穫や加工を効率よくするための機械の導入である。

●伊藤委員：新居浜市の農家としては、タマネギをもっとふやしていこうということか。

○山内経済部次長（農林水産課長）：今回対象となっている認定農業者は1人であり、市に提出された実施計画書ではタマネギをふやすことになっているが、市の農家全体としてタマネギに力を入れるかどうかは把握していない。

●藤田委員：市制80周年新居浜太鼓祭りイベント事業費について、新居浜駅前のイベントの棧敷席の数、警備体制、仮設トイレの設置場所と設置数は、

○宮崎運輸観光課長：棧敷席の数は、全体で570席の予定であり、そのうち来賓用が120席、それ以外の450席について9月1日から9月20日の間に申込受付を行っている。警備については、今回交通規制しようとしている区域が警察との協議で当初の想定よりかなり広くなり、国体等の関係で警察から出している人数も限られると伺っており、現段階では警備会社の警備員が約50人、市の職員等が約50人、新居浜警察署から18人の予定である。トイレについては、常設トイレが正光寺山古墳公園、JR新居浜駅、駅前中央公園の3ヶ所にあり、仮設トイレは、太鼓台の待機場所周辺に、具体的には城下橋までの間と高専通りに各2カ所で9基、あかがねミュージアム周辺に3ヶ所、22基、物産展等を行うために駅前人の広場に5基、正光山古墳公園の常設トイレの近くに7基、合計で9カ所43基の設置を計画している。

●藤田委員：トイレを設置しても使用状態が悪くて1時間も経つと使用不能なものが出てくると思う。9カ所43基を随時点検する予定はあるか。ぜひした方がいいと思う。

○宮崎運輸観光課長： そのような状況も十分想定される。一宮の杜ミュージアムや山根グラウンドでもそのような対応をされているということであり、同様の対応をシルバー人材センターに依頼するよう計画している。

●藤田委員： 違法駐車対策や交通規制の予告の看板は予定しているのか。

○宮崎運輸観光課長： 新居浜駅前会場については、今回初めてイベントを行うこともあり、警察の交通課と協議を進めている。川東西部地区、川東地区、下郷・又野・松神子地区、川西地区、大生院地区から進入してくる経路は現在4系統の予定である。4系統で進入してくるため、交通渋滞の予告看板等々、特に交通規制を入れるエリアについては、規制看板等の設置について助言をいただいた。かなり広範囲になるが、太鼓台が運行してくるエリアについては予告看板57基、規制エリア内で交通規制が入るという規制看板を38基、合計95基を市内の太鼓台の運行ルートや規制区域エリアに設置する予定で協議を進めているところである。

●藤田委員： 太鼓台運行助成費だが、1台にいくら助成するのか。

○宮崎運輸観光課長： 太鼓台関係者と実行委員会を編成し、その中でいろいろ協議しているところである。新居浜駅前会場に参加される太鼓台30台と山根グラウンド会場に参加される太鼓台20台があり、基準額を16万5,000円とし、山根グラウンド会場については、1台当たり16万5,000円を支出する予定である。新居浜駅前会場については、基準額に3分の1割増しとした太鼓台が25台、基準額どおりが大生院地区の4台、祭礼には参加せずにイベントのみ参加する太鼓台1台は基準額の3分の1として、太鼓台運行助成費を621万5,000円と算出した。この配分方法等について太鼓台関係者と協議した結果、均等割りで支出することとなったため、1台当たり20万7,166円の支出となる。

●藤田委員： 新居浜駅前でのイベントの終了定時間が16時45分ということで、時間が押した場合は、太鼓台はライトアップして帰らないといけなくなるが、それに対する支出は考えているのか。

○宮崎運輸観光課長： 現段階での太鼓台関係者との協議の中では、そういう趣旨の要望は伺っておらず、先ほど申し上げた20万7,166円で完結していただきたいと考えている。

●藤田委員： イベントのタイムスケジュールを管理するのは誰か。

○宮崎運輸観光課長： 新居浜駅前会場のイベントに関しては、進行する司会者のシナリオを作成している。最終的には、実行委員会の事務局が進行すると考えている。

●藤田委員： 会場装飾はどういうものを予定しているのか。

○宮崎運輸観光課長： 栈敷の最上部に、新居浜市制施行80周年記念太鼓祭りイベントの横断幕を設置し、沿道の各所にのぼり等を設置する予定であり、イベントの雰囲気の醸成につなげていきたいと考えている。

●藤田委員： 駅前に集まる30台の太鼓台ののぼりをつくり、あかがねミュージアムの周りに設置して、そこで各地区が演技するようにはどうか。

○宮崎運輸観光課長： のぼりについては費用計上しており、コスト面の問題もあるが、参加される各太鼓台の名前を入れたのぼりの制作についても前向きに検討したい。

●藤田委員： 今年出ていない太鼓台も4台あるが、その分もつくって盛り上げてほしい。次に、テレビCM、

テレビ番組放送については、どういう予定か。

○宮崎運輸観光課長：テレビCMについては、事業者等を選定しているところであり、放送本数がある程度確保していただけるとところと契約したいと考えている。具体的に、多くのCM提案をいただいているのが南海放送であり、9月25日月曜日から110本、次がテレビ愛媛で10月1日からの55本、岡山、香川を放送圏にしている事業者にも打診しており、その中で最も多い提案をいただいたのが瀬戸内海放送で、9月25日から45本と、高松シンボルタワーにある大型ビジョンで同期間に100本、岡山駅前にあるももたろうビジョンで100本の提案をいただいている。テレビ放送については、新居浜駅前会場については、10月15日の11時45分から12時50分の間、南海放送のもぎたてテレビの生中継を、新居浜特集として入れていただくよう事務を進めているところである。

●藤田委員：太鼓祭りが終わったら先を争ってDVDが販売されるが、市としてDVDの販売を考えているのか。

○宮崎運輸観光課長：記録映像の制作は予算計上しており、その映像の販売については、要望が強いようであれば、記録映像制作の事業者と協議したいと考えている。

●藤田委員：イベント終了後に各太鼓台から5人参加して150人ほどで一斉にごみを収集すると太鼓台関係者から聞いた。大生院地区は最初に演技するが、太鼓台は帰って5人は残るのか。各太鼓台は地区のイベントが終了したらすぐ帰るのか、また、5人以外の応援者は考えているのか。

○宮崎運輸観光課長：大生院地区については、ほかの太鼓台を見る機会がめったにないので、できれば一定時間記念イベントを見たいと伺っているので、見てから帰る方も出てくると考えている。ごみの回収については、各地区の太鼓台関係者をお願いしているのが、最低でも各太鼓台から5人のごみ収集要員を出してほしいということで150人と、運営委員会の皆さんも残っていただくと考えている。また、清掃ボランティアをされている団体を紹介いただいているので、清掃ボランティアグループとの連携も図りながら清掃したいと考えている。

●藤田委員：ごみ袋や集めたごみはどうするのか。

○宮崎運輸観光課長：基本的には実行委員会事務局で準備することで太鼓台関係者とは協議済みである。街商組合等の出店等も計画しているため、実行委員会事務局が準備して回収する部分と街商組合で手配していただく部分については、今後協議をしていく予定である。ごみ収集場所については、あまり目立たない市の所有地に集積し、回収業者に回収していただく計画で今後詰めていく。

●井谷委員：先ほどの95基の看板の経費はいくらか。

○宮崎運輸観光課長：交通規制看板の制作等については、新居浜駅前会場のイベント開催費に含んでおり、105万円程度を見込んでいます。

●井谷委員：新居浜ブランド首都圏PR推進事業費について、ふるさと祭り東京2018とは、どのようなイベントなのか。

○宮崎運輸観光課長：主催はふるさと祭り東京実行委員会であり、フジテレビジョン、文化放送、東京ドーム

の3者で実行委員会を編成している。会場は東京ドームである。今回市が出展を計画しているにぎわい市については、会期を平成30年1月12日から同月21日まで予定している。ふるさと祭りのイベントの趣旨は、地方の祭りを東京で見ることであり、今回で10回目を数える。青森ねぶた祭りや、弘前ねぶた祭りなどが出ており、四国では高知のよさこい祭りも昨年会場で踊りを披露したと伺っている。今回の実施期間中には、新居浜の太鼓祭りも参加すると伺っている。

●井谷委員：市が参加を希望したのか、それとも要請があったのか。

○宮崎運輸観光課長：ふるさと祭りは大きく分けて祭りを披露する部門とふるさとの食べ物などを出展するにぎわい市に分かれる。東京ドームから、新居浜祭りの太鼓台にぜひ参加してほしいという依頼が、NPO法人さしあげプロジェクトの口屋太鼓台にあったと伺っている。口屋太鼓台が出展を決定した後に、新居浜から太鼓台が参加するので、新居浜市としてもにぎわい市に出展をお願いできないかと依頼があった。新居浜の祭りや食等を東京で広くPRするいい機会と捉え、今回予算を計上した。

●井谷委員：新居浜ブランド首都圏PR推進事業費の補正予算の主な内訳は。

○宮崎運輸観光課長：この事業には、ふるさと祭り東京2018と三井住友銀行東館での新居浜展を合計して計上している。ふるさと祭りについては282万2,000円、三井住友銀行新居浜展の開催費用としては1,107万5,000円、合計1,389万7千円を計上している。ふるさと祭りのにぎわい市出展料として約100万円、出展時の経費やその他もろもろの業務委託料として96万4,000円。これは、観光協会、物産協会へ委託しようとしているものであり、そのほかに職員の時間外勤務手当等も計上している。三井住友銀行新居浜展については、現段階で17日間の開催を予定しており、その期間中の従事職員18人の派遣費用として172万6,000円、パネル梱包や広瀬歴史記念館に所蔵している品や新たに展示する展示物品のパネル製作費用として720万4,000円、ポスターの制作が39万5,000円、三井住友銀行で太鼓台のDVDも流す予定にしており、モニター等の賃借料として44万8,000円、首都圏のPR用の移住者向けの冊子作成委託料として35万7,000円、都営地下鉄等のステッカー広告掲出料として43万2,000円、そのほかに時間外勤務手当や旅費等で合計1,107万5千円を計上している。

<討 論>

なし

<採 決>

全会一致原案可決

閉会 午前10時54分

# 市民経済委員会付託案件表

平成29年9月19日

## ○経済部関係

議案第60号 平成29年度新居浜市一般会計補正予算（第2号）

第1表 歳入歳出予算補正中	ページ
歳出 第6款 農林水産業費 . . . . .	3・25
第7款 商工費 . . . . .	3・26・27